



NO. 810
 発行
 14・2月25日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

地本旗開きひろく

地本主催の「2014年旗開き」を2月1日に開催し全体で26名の参加でした。前段に10時30分から「特定秘密保護法」についての学習会を開催し午後から会場を移し「地本旗開き」を開催しました。

●労働講座●

特定秘密保護法について

地本学習会は10時30分から地本事務所で開催、上石委員長のあいさつのあと、「特定秘密保護法」について、合同法律事務所の齊藤裕弁護士より約1時間にわたって講演していただきました。



齊藤裕弁護士

地本春闘総決起集会

3月10日18時～
 地本事務所



なぜ強行採決されたのか

米国の圧力||GSOMIA(米機密情報)を守るために作られた。軍事情報・行動を守るため。日本が全世界へ戦争・軍事行動をするため・その情報を守ることと米国と一緒に行動するため。米国の機密情報(GSOMIA)を伝えるため・それを「秘密」にする必要がある。同時に軍事行動をもらさないため。



地本学習会開く「特定秘密保護法」

米国が世界的に戦争をやる。それを日本と同盟国と戦争をやるためにつくったものだ。日本は他国と違って内容はグローバルスタンダードではない。大ざっぱになっている。米国よりひどい内容だ。

官僚が作りたかった内容だ

日本の官僚が作りたかった内容・官僚が違法なことをやっている、それを秘密にしたいため。それは米国とも合致した。米国よりもひどい法を作った。

11月5日・民・公・共は第三者機関の設置のため海外へ視察に行った。しかし、内容は米国の要請と官僚の考えなど自分達で作りたいものを作った。戦争へつながっている。

秘密は官僚が指定する

問題点||不明確認・国、行政が特定秘密に指定した内容について処罰する。法の3条||秘匿するものを秘密にする。それは官僚が指定する・恣意的に指定。

秘匿する内容、条文について自衛隊の運用・外交や安全保障、TPPも該当する。安全保障に関わらないものは無い。同盟関係の国との交渉はこれに入る。



テロリズム街宣も入るのか

法の12条のテロリズム||街宣行動も入るのか。主義主張に基づいて他人へ強要する。訴えが強い、激しい場合はテロになるのか。国には殺傷と破壊。条文の内容はいろいろ解釈するようになっていく。限定していると言っているが、かなり広いものを対象にしている。そして秘密の内容は官僚が決める。市民活動・組合活動など現在でも公安調査庁が監視している。市民運動をしていることが特定秘密になる。



内部告発できなくなる

市民活動・運動について秘密に指定となる。内部告発が出来なくなる。今よりも見えないところで市民活動がされる。監視される。組合活動の内容についても、それが特定秘密になるのか。JRで(軍事関係)輸送の運行計画について処罰対象になる。すごく広い範囲に指定される。

毎日新聞記者||秘密漏洩で処罰された。日本と米国との密約・沖縄返還に関して密約があった。

国民に嘘をついていた。国が国民に違法行為をして外へ出さないでいた。それを漏らした毎日新聞記者が処罰された。



特定秘密と同様なことになる。先制攻撃を秘密にしたことを隊員が漏らした。これも同様になる。違法なことも秘密指定する。官僚が指定。外国は違法についてチェック機関がある。しかし日本は特定をチェックする機関が無い。第三者機関は4つ上げたが①官僚がチェック②諮問機関7〜8人・これはルールを作るだけで具体的にチェックしない。官僚がやりたい放題だ。

適正評価制度は

適正評価は適正評価対象の調査を行いその結果に基づき実施するもの。適正評価制度は個人評価は官僚が評価する。親族も対象になる。民間企業は、軍需産業・JRは武器輸送などで特定秘密になる。それに関係のあるものは適正評価の対象になる。自衛隊に関する企業、商店なども特定対象になってくる。外国との緊張状態になっている時は、平時でな

い時より特定秘密が広がっていく。

原発従事員も対象

適正評価は原発従事員も対象。外国がやっているから日本もやらなければならぬか。日本は企業内で個人情報への調査。適正評価制度がない時でも、個人調査がやられていたがこれが導入されると厳しい実態になる。調査が違法にならない。テロ活動と関係しているものが調査される。情報の収集される。内容範囲が広い。密告も発生する。個人のプライバシーについても情報収集される。



地本旗開き

2014年「地本旗開き」は会場を変えて新津の「ますがたや」で12時から開催しました。開会あいさつの後、上石委員長から当面する課題や職場の現状について報告がありました。



「安全問題について」JR北海道のレール検査数値改ざんなど大きな問題が発生しているが、新潟においても厳しい状況になっている。検修の全面外注化が強行されて、今度は新津の車両製作所が分社化になる。出向されると帰る職場が無くなる。出向協定の意義が無い。労働条件の悪化など厳しい状況になる。最重要課題である組織強化拡大について、昨年関連会社の労働者から国労加入があった。地本は組織対策会議を2月に開催し次回は3月15日に開催する。機関が機能していくことが組織拡大につながっていく。目に見える取り組みにしていこう。2014年春闘は1万円の要求だ。職場の労働条件改善・組織拡大に向けてがんばっていこう」とあいさつがありました。

エリア本部から矢部執行委員が出席、2014年春闘の取り組みを含め情勢についてあいさつがありました。その後、田澤書記長から今後の日程について説明、斉藤県支部委員長の乾杯の音頭でスタートしました。



12時過ぎから開会した「旗開き」は楽しいひと時でした。参加された方々は、交流を更に深めさまざまな課題について取り組む決意を新たにしました。

お疲れ様でした。

廃止する法案を出した。民主党・共産党・日弁連。運動を進めていく。第三者機関を作るという議論がさされている。充実したもの、具体的な中味にしていく。そして廃止の方向。よりマシにすること。法はできて形骸化した法だと訴えていく。廃止していく。反対運動を広げていく。



斉藤弁護士から約1時間の講演でした。特定秘密保護法をわかりやすく解説していただきました。さらに問題点やなぜ強行に採決したのかよくわかりました。学習会は12時頃に終了し「旗開き」の会場へ移動しました。



編集後記

関東・首都圏が大雪で交通機関が大混乱になっています。それにくらべ新潟市内は、雪は降りませんが積りません。山沿いは大雪で大変です。

16日に会議があつて国労本部へ行きました。上越新幹線は雪の影響で新潟駅発車から30分くらい遅れました。越後湯沢駅までは順調でしたがトンネルを越えてから、大幅に遅れて出て東京駅に1時間30分くらい遅れて到着しました。雪は高崎駅・大宮駅など窓越しからでしたが雪が3センチくらいあつたように見えました。都会は雪に弱いですね。大変な一日でした。

